

報告書とりまとめ方針（案）

はじめに

第1章 調査検討の概要

1. 1 目的
1. 2 調査検討項目
1. 3 調査検討体制
1. 4 審議経過
1. 5 構成員一覧

第2章 気象レーダーの現状と課題

2. 1 気象レーダーの概要
2. 2 小型・軽量化のメリットと課題
2. 3 9. 4GHz帯を使用するメリットと課題
(参考) 9. 4GHz帯におけるレーダー等の利用状況
2. 4 国内の9. 7GHz帯におけるレーダー等の利用状況
2. 5 海外の動向

第3章 小型気象レーダーの実用化に向けた検討

3. 1 小型気象用レーダーの需要
3. 2 小型気象用レーダーの実証のための検討
3. 3 既存システムとの共用検討（机上検討）
 3. 3. 1 シミュレーションモデルの作成
 3. 3. 2 離隔周波数依存性
 3. 3. 3 近距離／遠距離探知レンジモード依存性
 3. 3. 4 レーダー数依存性
 3. 3. 5 離隔距離依存性

第4章 実証試験

4. 1 実証試験の概要
 4. 1. 1 実証試験項目
 4. 1. 2 実施期間
 4. 1. 3 実施場所
 4. 1. 4 レーダー諸元
4. 2 実証試験の実施手順等
 4. 2. 1 測定の条件・手順
 4. 2. 2 減衰量の距離換算の検討

- 4. 2. 3 破壊入力電力の検討
 - 4. 3 実証試験結果
 - 4. 3. 1 実証試験 1 (小型気象用レーダー同士の干渉状況について)
 - 4. 3. 1. 1 実証試験 1 の概要
 - 4. 3. 1. 2 実証試験 1 の結果
 - (1) 離隔距離の増加に伴う干渉状況の変化
 - (2) 空中線走査方法の変化に伴う干渉状況の変化
 - (3) 離隔周波数の増加に伴う干渉状況の変化
 - 4. 3. 1. 3 考察
 - 4. 3. 2 実証試験 2 (小型気象用レーダーと船舶用レーダーの干渉状況について)
 - 4. 3. 2. 1 実証試験 2 の概要
 - 4. 3. 2. 2 実証試験 2 の結果
 - (1) 離隔距離の増加に伴う干渉状況の変化
 - (2) 空中線走査方法の変化に伴う干渉状況の変化
 - (3) 離隔周波数の増加に伴う干渉状況の変化
 - 4. 3. 2. 3 考察
 - 4. 3. 3 実証試験 3 (小型気象用レーダーと航空機用レーダーの干渉状況について)
 - 4. 3. 3. 1 実証試験 3 の概要
 - 4. 3. 3. 2 実証試験 3 の結果
 - (1) 離隔距離の増加に伴う干渉状況の変化
 - (2) 空中線走査方法の変化に伴う干渉状況の変化
 - (3) 離隔周波数の増加に伴う干渉状況の変化
 - 4. 3. 3. 3 考察
 - 4. 3. 4 実証試験 4 (小型気象用レーダーの運用実力値検証について)
 - 4. 3. 4. 1 実証試験 4 の概要
 - 4. 3. 4. 2 実証試験 4 の結果
 - 4. 3. 4. 3 考察
 - 第 5 章 小型気象レーダーの実現に向けた技術的条件の検討
 - 5. 1 レーダーに求められる技術的条件
 - 5. 2 既存システムとの共用条件
 - 第 6 章 調査検討のまとめ
- おわりに